

12月31日(水) 大晦日

一年の終わり。あっという間の一年間だったと毎年思います。大晦日、私の仕事の一つに、**買い物**があります。今年は油断して一時間遅くその店に行くと、**約一時間**並びました。並んだ末に店内に入ると、また**行列**がありました。時間はかかりましたが、なんとなく**幸せな気持ち**になりました。多くの人がおいしい物を求めて集まっている。平和な大晦日です。



12月30日(火) 年賀状

年末、いつも**慌ただしく**取りかかるのは年賀状作りです。プリンターもよくなつて、昔よりもストレスなく作成できるようになっていますが、時間はかかります。**一仕事**です。印刷の調子は良かったのですが、愛猫が珍しがって時より**邪魔**をしてきます。「もっと早くから始めろ」と言われているようでした。でも、年賀状が出せる一年であつたことに、まずは**感謝**したいです。



12月29日(月) 夕日

ある場所できれいな夕日を見ました。日常生活で夕日を見て感動することはあまりないことに気づかされました。**どこにいても**、天気さえ良ければ、夕日を見られるはずです。**日の出**も同じです。日常の中でもっと**感動**を見つけなければならぬと、心から思うきっかけになりました。「きれいな夕日」を、できるだけ多く、来年は見たいものです。



12月28日(日) 芸能

旅先で、現地に長く伝わる民俗芸能を見ることができました。楽器も使わずに約一時間、一糸乱れぬ**声と動き**。



とても感動しました。現地の人にとっては、小さい頃から身についた芸能なのかもしれません、驚きました。日本にも、各地域で伝承されている同様なものがたくさんあると思います。昨日同様に、伝承する人の存在こそが、文化を守ることになると思ってしました。

1月27日(土) 伝承

休みを利用して、ある観光地に行きました。画像や動画で見ていた以上にすばらしい光景で、感動しました。歩いている時に、この場所を整備している方がいました。話しかけてくれたので、通訳も方が話の内容を教えてくれました。簡単に言うと「継いでくれる若者がいない」ということでした。田畠の仕事はきついので、やってくれる人がいないのだということです。どこにでもある問題なのでしょう。このすばらしい景色、自然を守っていくのは、当たり前ですが人なのです。A I ではないのです。



1月26日(金) 冬休み

「冬休みの楽しみ」のアンケートにも、たくさんの回答がありました。サンタからのプレゼント、旅行、おせち料理、友達との遊び、従兄弟などに会える、祖父母の家に行くなどなどで、とっても多かったのが「お年玉」。何を買うのかも決まっているようです。楽しい冬休みにしてもらいたいという気持ちと、とにかく無事に、事故に遭わずに、健康で、元気に過ごしてもらいたいという気持ちを、回答を見て抱きました。



1月25日(木) 一言

通知票を見て、家の人に言ってもらった言葉をアンケートしたところ、たくさんの返信がありました。「よくできましたら、いっぱいあって凄いじゃん」「二学期ぜんぶ



よくできただじゃん！がんばったね！生活の様子の丸も増えて友達となかよくしてすてき！これからもたのしんでね」「頑張ったね」「良く出来るのがいっぱいだね」などと言ってもらったことが分かり、嬉しくなりました。

12月24日（水）終業式・通知票・お別れ

長かった二学期も本日で終わりです。終業式の校長の話では、二学期に伝えたことを確認してから、それぞれに二学期を振り返ってもらいました。ポイントは2つです。自分のクラスは成長したか、そして自分はどのように成長したか。さらに、今のクラスの状態に満足しているかを考えもらいました。結果をまとめて、どこかで報告させてもらいますが、扇っ子はとても成長しています。

扇っ子一人ひとりに担任から通知票を渡しました。一人ひとりに、成長と課題を伝えました。基本的に一対一、子供も神妙な表情で担任の話を聞き、通知票にある○を見つめていました。何人かに聞いてみると「がんばろうが減ったので、良かった」「だいたい一学期と同じ、でもがんばったから良かったと思える」などを話してくれました。通知票の最高の価値づけはご家庭の一言です。

お子さんを授かり、三学期より産休に入る職員が二人います。下校時に、学年でお別れ会をしている場面に出くわしました。現クラスの子だけでなく、昨年度のクラスの子も集まってきた。涙を流している子もたくさんいました。少し早いお別れになります。必ずまた会える日が来ることを、泣いている子供たちには、私から伝えました。



12月23日（火）楽しみ・リハ・掃除

本日はいろんな場所でお楽しみ会やレクを見ました。学年で取り組んでいる場面も見ました。5人6脚などのとてもおもしろい姿も見ました。あるクラスでは、お楽しみ会の司会をする子が、その原稿を見せてくれました。二

学期がんばったこと、三学期がんばりたいことが台詞に刻まれていました。がんばったからこそ、この時期楽しい時間を過ごせるのでしょう。

明日の終業式で、児童代表の言葉を担当する子が、あるクラスで発表されました。もちろん大きな拍手が起きました。「みんなに聞いてもらいましょう」と担任が言うと、皆が賛同。「〇〇がんばれー」「〇〇しっかりね」等の声が飛びました。代表の子は立ち上がると、堂々と終業式での言葉を読み上げました。すばらしい内容でした。きっとこの子も大きな勇気をもらったことでしょう。

レクなどと同じくらい見かけたのは大掃除。教室の隅々まで掃除をしたり、昇降口に来て自分たちの靴箱を掃除したり、ベランダに出てゴミなどを拾ったりする姿を見ました。真っ黒になった雑巾を見せてくれた子もいます。自分の机の中、ロッカーの中の掃除で時間を使い果たした子もいたようです。「きれいになった」と感じた心は、きっと明るいものだと思います。



12月22日（月）掃除・お別れ・災害

8月22日に他界した、本校職員の北見さんを忘れないことがないように、本日、放送委員会が掃除前に呼びかけを行ってくれました。「北見さんのことを忘れないためにも、今日は学校をピカピカにしましょう。黙って掃除します。ゴミが落ちていたら拾います。ゴミを落としません」と。あれから4ヶ月。時が経つのは早いですが、故人の学校への思いは、絶対に引き継いでいきます。

三学期から産休に入る職員がいます。そのクラスでは「おめでとう」「ありがとう」「さようなら」の会が行われました。担任も驚くような演出で、見ていても涙が出るようでした。しばしの別れになりますが、また戻ってくること、再会を楽しみにしていることを、子供たちに伝えてくれました。この仕事に別れはつきものとはいえ、子供たちにとっては寂しいこと、悲しいことでしょう。あと二日、



大事な時間を過ごしてもらいたいです。

四年生が社会で学習した災害について、まとめ終わつたようです。このような活動を見ると、天災を思い出します。地震は先日もありました。火災もありました。「忘れた頃にやってくる」と言っていた天災も、最近は忘れることもできない頻度で、この国に起こったり、予兆の呼びかけを聞いたりする気がします。子供たちには、このような学習を決して無駄にしてほしくないと切に願います。



12月21日(日) 本

この時期になると、例年、買っておいた本を開くことになります。一つは年賀状作成のもの、もう一つは冬休みの旅行のもの。年賀状については、CDを取り出てしまえばもうほとんど用はありませんが、旅行については帰宅するまで必要になります。このような本を年末に開けることが、幸せだとしみじみ感じます。



12月20日(土) 新年

校長室にこもって、ノートやワーク、掲示物、HPなどなどの仕事。少し体を動かしたくなつたので、校内を歩くと、新年を感じさせてくれる掲示物や掲示に向けて作成途中のものを見つけることが出来ました。そろそろ年賀状も作らなくてはと思っていたところ、そのまま使いたくなりました。今年も、お世話になった方々に年賀状を出せる一年となりそうです。感謝です。



12月19日(金) いい話・練習・立体

学期末、最後の給食の日には、「いい話ベスト3」を放送委員の子に読んでもらうことにしています。この二学期、担当の子が選んだ3つは「ティッシュ」「ダッシュ」「タイムスリップ」でした。高学年のやさしさ、平和への



思い、6年生の素晴らしい姿の話を選んでくれました。どれもとってもいい話です。HPでお確かめ下さい。

二年生が、町探検発表の練習をしていました。3人グループの視線の先には、PCが2台ありました。一つはすぐに分かりました。探検で撮影した写真です。本番では、この写真を示していくのでしょう。そしてもう一つのPCは動画撮影に使われていました。後で見直して、反省会をするのだそうです。PCの活用は、本当に様々です。子供の発想はどんどん広がっていくのだと感心しました。

おうぎ学級では、立体を作っていました。棒と、それをつなぐ球がたくさん用意され、そこから必要なものをとって作り上げるのです。二年生の子が立方体を作り上げると、先生に「立方体ができた」と報告していました。「辺が12本ある」ことも、報告していました。通常学級の二年生の教室では、「立方体」は登場しません。実際に作ってみて、辺や頂点の数や構成を理解していくことを間近で見ることができました。



12月18日(木) 書き初め・買い物・お茶

今週に入って、どの学年でも書き初めの練習に取り組んでいるようです。真剣な雰囲気は、廊下にまで伝わってきます。五年生が取り組んでいる様子を見ていた時、黒板に書かれた文字にも真剣さを感じてしまいました。「本番のつもりで」「ポイントに注意して」「一生懸命に」字にも力強さがあります。本番とは競書会のこと。冬休みにも本番のつもりで練習してもらいたいです。一年に一回の、新年を飾る競書会が待っています。



おうぎ学級では、買い物の練習をしていました。ケーキ屋さんに買い物にいくようです。お金を払う担当、買ったケーキを持つ担当が必要です。三人組でいくなら、残り一人は何をするか。子供たちも考えましたが、先生から正解が示されました。買うものを選んだら、店の外で待っている。他のお客さんへの配慮、買い終わった後の待機場所の



存在などを考慮した答えです。なるほどと思いました。

三年生の教室に入ると、狭山茶について学んだことをプレゼンするための準備をしていました。その後、四年生の教室に入ると、狭山茶のポスターが置いてありました。担任に聞くと社会で狭山茶をアピールするポスターを作ったとのことでした。素晴らしい出来栄えだったので、校内に貼るだけではもったいないと感じました。いつか、全国に張り出されるような「入間市PRポスター」を、入間市の小学生が作ったらどうだろう、そんな夢を考えてしました。



12月17日（水）ガンダム・野球・検定

五年生が、社会で工場について学んでいます。その一環で、プラモデル作りに取り組みました。とても良い活動だと、私は思っています。説明書を読んで、その通りに作れば完成するプラモデル。私が小さい頃はよく作りました。完成した時の喜びは今でも覚えているほど。途中でやめたくなることもあります。説明書を読み続ける読解力は、今の子にはとても必要だと考えています。さて、この時間は、全員が何とか完成しました。



五年生の体育で、ベースボール型ゲームをしていました。バッターが打ったボールを守備の子が追い、全員がそこに集まるまで、バッターはベースを回ります。もちろん遠くに打ったほうが点は取りやすいので、子供たちは思いっきりバットを振っています。やっているうちに、人がいない所に打ったほうが良いことに気づいていきますが、これも難しいこと。守備の子たちも、だんだんと守る位置を考え始めています。試行錯誤、スポーツの醍醐味です。



三年生が必死になってわり算検定に取り組んでくれています。本日は、友達の応援もあって10人以上の子が合格しました。応援といつても答えを言ってはダメなことは皆、分かっています。そのマナーを守りつつ、「がんばれ」「ほら、さっきのやつだよ」など小さい声で受験者に



さきやいています。12月中に全員に合格してほしいと、担任にはお願いしています。1月には九九検定が始まりますから。

12月16日(火) ダンス・問題・調理

六年生の有志の呼びかけ、20分休みにダンスバトルが始まりました。体育館使用の許可をしたことや放送で言っていたのは覚えていたのですが、この日は時間があったので、見に行きました。十数人が集まって踊るくらいのことだろうと想像しながら体育館に入ると、すでに百人近くの子が輪を作っています。その前に、本日ダンスを披露する子が並んでいます。一年生、二年生の子もダンスを披露していましたが、キレッキレのダンスに圧倒されてしまいました。明日のこの時間が楽しみになりました。



二年生が、町探検を行ったことを発表するための準備をしていました。多くの子が、聞いている人を飽きさせないためにクイズを考えています。「畳屋さんは、一日に何枚作るのか」「畳屋には、畳が何枚おいてあるか」「交番に人は何人働いているか」など。向原中学校○×クイズを完成させたグループもいます。二年生らしいと思ったのは、その選択肢です。①200人 ②40人 ③500人 ④10人など、並びの意図が予想できないのです。



六年生が調理実習を行いました。今回は、一人一品、好きな物を作るようです。同じ物を作る子同士が近くで活動していますが、基本は自分で一品作るのだそうです。カレーを作る子は3人、うどんを作る子も3人いました。揚げないコロッケ2人、チーズオムレツ2人などなど。いつものような分担制ではないので、それぞれが包丁を握ったり食材を洗ったり、使った物を片付けたりしたようです。一人一品なので、職員室におすそ分けに来る子はいませんでした。

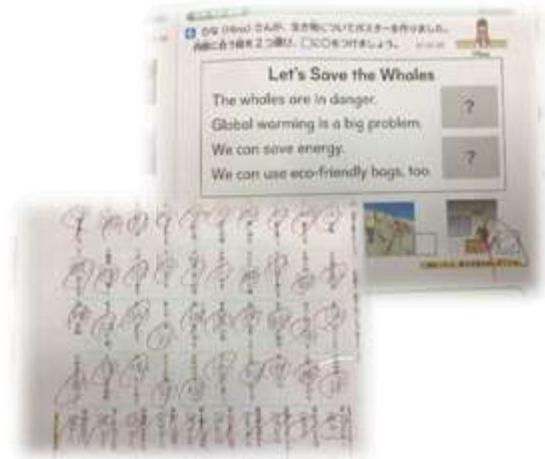
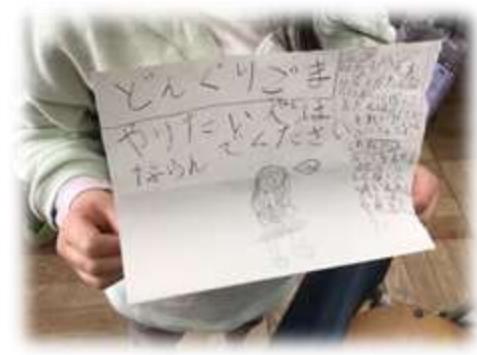


12月15日(月)遊び・テスト・施設

一年生が「秋のおもちゃ」を作っています。けん玉や迷路、マラカス等が完成してきました。作り上げた子が何をしているかというと、説明書、案内です。見せてもらうと、そのおもちゃの遊び方が書いてあって、見てもらうための工夫もあります。作ったおもちゃを、友達に遊んでもらうためのひと手間を、今、考えているところです。

学期末、テストを受けている姿をよく見るようになりました。職員室で〇つけをしている職員の姿を見ることも増えてきました。五、六年生の漢字などはだいぶ難しいものが登場しています。私自身、100点取れる自信はもうありません。さらに難しいのが外国語。六年生のテストを見ると、英文に合う絵を選ぶ問題がありました。あるクラスの解答用紙を見せてもらいましたが、解答の状況からそれほど難問ではないことが分かり、少し複雑な気持ちになってしまいました。

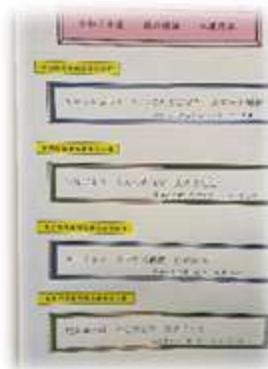
三年生が身近な施設について紹介する作文に取り組んでいました。久保稻荷公民館を紹介する子のワークを見て、ここを選んだ理由が分かりました。「遊べる」「宿題ができる」「帰りに行ける」「ご飯を食べられる」「学校から近い」「ランドセルで行ける」など。この公民館では、子ども食堂やなかよし広場などを実施しており、放課後の子供の居場所になっていることを教えてくれています。地域の中に生きている貴重な施設です。



12月14日(日)税

午前中、気になったことがあって学校に入りました。昼なのに寒くて、手が動きません。外は冷たい雨。一日誰も入らず、暖房もつけない学校の寒さを思い知りました。

夕方、近所の図書館に行くと税の標語が貼ってあり明日。優秀な5句の中に「キャッシュレス」「e-TAX」というワードが登場しています。こんな所にも、時代の大きな変



化を感じしていました。

12月13日(土) ペンギン

本日は、ノート、ワーク、テストなどに目を通すために出勤しました。掲示物などの作成も行いました。寒い日でしたが、校庭ではサッカー少年少女が張り切って走り回っています。

3年生のテストに「ことわざを作ろう」という問題がありました。一番気に入った解答は「陸地にもペンギン」です。その意味は、泳ぎが得意なペンギンもたまにはちがうことをするという例えだそうです。他にも素敵な解答がたくさんありました。



12月12日(金) ショップ・話し合い・鉄棒

本日、20分休みと昼休みに、教職員に向けたおうぎショップが開かれました。たくさんの先生たちがこの時間、集まつきました。一番売れていて、私もすぐに並んだのは画鋲です。ビーズできれいに作られている4つの画鋲が、ダンボールに刺してあるもの。すぐに使えそうですが、そのまま飾っても楽しめそうな秀逸品です。大根やカレンダーも、飛ぶように売っていました。



二年生が「二学期がんばったね会」で何をするか、話し合いをしていました。話し合いのキーワードが示され「協力」「ふかめる」「三学期」が、黒板に貼ってあります。この言葉を使って「賛成」「心配」の意見が交わされました。決まったのは「協力ジェスチャー」と「たからさがし・手書き遊び」です。司会の二人が堂々と話し合いを進めていく姿に、感動していました。



五年生の学年コーナーには「TETSUBOU アワード」があります。13点がゴールになっていて、その点数に達したこの名前を書くようになっています。12点のところに三人の名前が登場したことに気づきました。しかし、その



上・13点のところに、一人の名前がありました。よく見るとそれは、子供ではありませんでした。あるクラスの担任です。**さすが先生！**と、子供は思っていることでしょう。

1月11日(木) なわとび・カッター・鉄棒

一年生は、学年集会でなわとびに取り組みました。前跳び、かけ足跳び、あや跳び、グーパー跳びなどを、全員で行いました。見本となるような**上手な子**は、朝礼台の上に誘導されて、みんなの前で演示してくれました。寒さに負けない一年生の姿に心も体もあたたかくなりました。**休み時間**、いつも以上になわ跳びをしている一年生が多かったような気がしました。



校内を廻っていると、**テスト**をしているクラスが分かります。室内から声が聞こえてこないからです。**二年生**でも、そんな雰囲気のクラスがありました。取り組みの様子を見ようと入ってみると、テストではありませんでした。**図工**です。**カッター**を使って、色紙をていねいに切っています。安全のために、黙ってやることになっていたのでしょうか。**真剣**な表情は、テストをやるときと変わりませんでした。



校庭から**歓声**と応援の声が聞こえてきたので、仕事を中断して出て行きました。鉄棒をしていた**五年生**です。ある子が技に挑戦していて、それを十人近くの子が囲んでいます。**コツ**を教えたり、**声援**を送ったり、**見本**を見せたりしています。先ほど聞こえてきた歓声は、「できた！」ことだと分かりました。見ていると、二度目の歓声が起きました。**二回目**、偶然ではない、**自力**でできたことが証明されたことを喜ぶ、あたたかい歓声でした。



1月10日(水) 針・かけ算・給食

五年生が家庭科である問題を学び合っていました。その問題とは、**まち針**をどのように刺せばいいかというもの。教科書にはそこまで書いてありません。二枚の布をと



めるのに、ななめがいいか垂直がいいか、それとも・・・。
安全性や効率性、正確さ等などの観点から様々な意見が
出てきておもしろかったです。ネットで調べた子がいて、
答えは出たようでした。

二年生が3人で、校長室を訪ねてきました。かけ算の仕
方で大発見をしたとのことです。 7×12 の問題に取り組
んで、12を分ければできることを学んだとのことです。
 7×10 と 7×2 を足せばいいと。しかしそこで終わらず
に、両方分けてもできそうだと、友達が発見したようです。
「7を4と3に分けてもできる」というのです。
 4×10 と 4×2 と、 3×10 と 3×2 を足すと、紙に書いて説
明してくれました。すばらしい「?」、自走です。

すぐーるで「給食の感想」を呼びかけたところ、日々感
想が届いています。この日は昆布ご飯といそべ揚げが出
ました。「おかわりしたぐらい美味しいと、豚汁は具がた
くさん入っていて、あったかくてほっとした」「私の好きな昆布
が入っているごはんだったので、とても喜んで食べた」「ご飯の肉が美味しい」となどなどです。詳細は
HP「おいしい扇給食」をご覧になってもらいたいです。



12月 9日(火) 集会・なわとび・みそ汁

二年生の学年集会では、おもしろい活動がありました。
先生2人が九九を掲げます。答えが大きいと思った方に
移動するのです。「 6×7 」と「 8×6 」など、次々に問
題が出され、子供たちが移動します。さすがと思ったのは、
最後にジャンプの問題が用意されていたのです。正解者は
少数でした。「 5×15 」と「 6×14 」。正解した子は、
この日最大の声で喜びを表していました。

一年生の体育では、なわとびに取り組んでいました。ペ
アでいろんな跳び方を考えていたようです。二人とも跳べ
たときの喜びは二倍以上です。「見て見て」攻撃にあい見
に行きますが、その時に限って縄が絡まっていたりするの
で、全ペアのリクエストには応えられませんでした。おも



しろい飛び方が、どんどん登場してもらいたいです。

五年生が調理実習で、みそ汁作りに取り組んでいました。ちょうど具を切っていたところでした。豆腐、野菜などを包丁で切っていたのです。正直「こんなに大きなのを入れるつもりなのか」と心配になってしまふグループがいくつもありました。そんなことを忘れかけていた12時過ぎ、あるグループが完成したみそ汁を持ってきてくれました。具材はちょうどいい大きさでした。おいしかったです。



1月 8日（月）構成・決断・組み合わせ

三年生が算数で数の構成について学び合っていました。「280は、どんな数か」が問題です。子供たちは様々な表現をしていました。特に式で表現できる子が多くて高まっていることを感じました。「 $300 - 20$ 」「 $200 + 80$ 」「 28×10 」「 $200 + 80 + 0$ 」「 10×28 」「1を280個集めた数」などなどです。どんな数にもこのように構成があり、それを考えることは数の理解を深めることにつながると考えます。



四年生がバスケットボールに取り組んでいました。一つ気づいたことがあります。それはシュートを打つ場面。パスをもらってすぐにシュートを打てば決まりやすいのですが、ボールを持って迷っていると相手に取られるのです。決断力のようなものを感じました。迷っているとうまくいかないこともあります。即断の方が物事がうまくいくことが多いもの。そんなことも学んでもらいたいです。



六年生の算数では組み合わせを学び合いました。「普通の牛乳、コーヒー牛乳、麻婆豆腐、餃子、から揚げ、ポテト春巻き、さわらのから揚げ」の中から、3つを選ぶ組み合わせは何通りあるか、ただし「牛乳は1つ入れる」「おかずは違う物を選ぶ」という問題です。落ちや重なりがないように考えるのが課題です。20通りあることはほとんどの子は解決していました。図や表を効果的に使えば、それほど難しくないのですが、試行錯誤することも大事な学習



です。

12月 7日（日）交通安全

出先で、何かのイベントをやっていたので近づいてみました。交通安全の呼びかけでした。地元のキャラクターがいて、地元のタレントさんが来ることを伝えていました。12月になり、通勤途上で毎日のように事故の情報が入ってきます。その度に渋滞に巻き込まれますが、それよりも気になるのは、事故に巻き込まれた方々の無事です。パトカーや救急車とも毎日のように出くわします。安全運転、無事の帰宅を日々心がけたいです。



12月 6日（土）成果・栄光

本日は朝から出勤。職員に提出してもらったノート、ワーク、テストを見ました。算数、国語、外国語、音楽、家庭科、自主学習などなど、扇っ子がしっかり勉強していることが分かり、とても気分が良くなりました。特に「？」を書いている子が増えていることを感じたことが、一番嬉しかったです。

気になっていた映画を観てきました。実際にプロとして活躍した選手の一生、奇跡、努力を描いたもの。ほぼノンフィクションだということです。私の周りの人も、後半はずつとすすり泣いていました。人の一生は長さではない。どう生きたかだということを学びました。



12月 5日（金）達成・計算・僕も

校長室で仕事をしていると、最近聞こえてくる声があります。「できた！」。鉄棒のシーズンになり、授業中や休み時間、鉄棒をする子が増えてきています。今日も、大きな声が聞こえてきました。「やったー！できた！」「やっとできた！」。仕事をやめて校長室から鉄棒を見ると、カ一



ドに◎とつけて、走り回って数人に自慢している子がいました。

一年生が計算カードでおもしろい学び合いをしていました。先生から答えが9になるカードを探しましょう、とう問題が出ました。「5枚あった」「もっとあるよ」「8枚見つけた」などなどの声が上がり始めると、ペアでカードを見つめる目も真剣さを増してきました。ある子がカードを裏にして、答えが9になる式を見つめ始めました。そしてそれを、ある規則に従って並べ替えていました。すばらしい「?」が、すばらしい発見につながったようです。これこそが、学ぶことなのだと再確認しました。

掃除中、一年生が無言でシンデレラ拭きを一生懸命にしたので、写真を数枚撮らせてもらいました。その私の姿に気づいた近くの子が、ささやくような小さな声で私の耳元で言うのです。「僕も撮って」。「僕もしっかり掃除をしているから、僕のことも認めてください」というメッセージだと思い、リクエストに応えて撮らせもらいました。何事も誰かがしっかり評価してあげないといけませんね。



12月 4日(木) 平均・落ち葉・文集

五年生が算数で面白い問題に取り組んでいました。一週間の調査で、自分が一日平均何人にあいさつしたのか、それぞれが知っています。このペースでいくと、何日で扇小全員とあいさつができるか、入間市民全員とあいさつができるかを考えました。ある子は出てきた数値を見てその多さに驚き、○○○○日を○○年に変換していました。そしてある子は、「自分が○○歳のとき」という解答を書いていました。

ある子が朝、「きれいな葉を拾った」と私に見せてくれました。紅葉と黄葉、それが混じった葉など、三、四枚を見せてくれました。「きれいさ」に共感するすると、その子は校舎内までこの葉をもって行きました。そんなことを忘れていた昼休み。この子が、これらの葉を重ねて一つの



作品にしてものを、校長室に持ってきてくれました。「プレゼント」と。一足早い、クリスマスプレゼントに、感激してしまいました。

本日も十人以上の六年生が校長室にやってきました。卒業アルバムの文集のチェックをもらいに来たのです。今日来た子は、ほとんど自分の夢を綴っていました。ネイルアーティスト、介護士、優秀な社会人、プロ野球選手、サッカー日本代表などなど。夢のある話を読んでいるだけで、気持ちがポジティブになっていくのを感じます。私自身も、もう一花咲かせそうな、勘違いをしてしまいました。



12月 3日（水）寒さ・諸注意・音楽会

寒さも厳しくなってきました。校庭から聞こえてくる扇っ子の声も、少し小さくなってきた気がします。その分、先生の気合の入った檄が聞こえています。この日の4時間目、鉄棒をしているクラス、タグラグビーをしているクラス、ペース走をしているクラスがありました。鉄棒ではある技のテストがあったようで、先生に診てもらった子が、体育ノートに何かを書いていました。その姿も寒そうでしたが、子供たちは元気です。



5時間目の低学年音楽会。進行をしていたのは二年生でした。この進行役の子が立派な姿を見せてくれました。子供たちへの注意を呼びかけるだけでなく、たくさんの保護者の方に向けても「携帯電話は・・・」などの諸注意を話してくれました。堂々と、凛とした、よどみのない表現に、私を含めた職員も笑ってしまうほど、驚きました。歌声だけでなく、このような姿も育ててもらい、嬉しくなりました。



音楽会二日目、最後は三、四年生です。他の業務があり、歌声を聴くことはできなかったのですが、終わりの言葉で代表の子が素晴らしい内容の話をしたことを知りました。子供に向けては、来年度もがんばっていきましょう



(音楽だけでなく)と、保護者に向けては、その姿を見守ってください、本日はありがとうございました、と。総合的な学習の時間に未来の自分について探求していることの成果が表れていると感じました。

12月 2日(火) 朝会・自学・音楽会

本日の講話朝会は「いじめ防止・人権」について考えてもらうものです。子供たちには、文章を送り、それを読んで考えてもらいました。学校でも人権侵害にあたる行動があること、そして一番許せない行動は何かを回答してもらいました。詳細は学校だよりでお知らせします。低学年の学級を回りましたが、どの子も真剣に考えてくださいました。人権感覚が育てば、いじめはなくなっていくと考えています。



三年生が、校長室を訪ねてきました。手には自主学習ノートを持っています。それを見せに来てくれたのです。自分で考えて作った折り紙がノートには貼ってあり、作り方や作品の説明が書いてありました。きっと担任の先生や友達に認めてもらったのでしょう。もっと多くの人に見れもらいたいと思ったのでしょう。このような自走する子の姿は、本当に嬉しいものです。がんばったことは認めてあげる、これも人権感覚だと思います。



校内音楽会の初日。5校時はおうぎ学級、6校時は高学年でした。おうぎ学級は、アンコールを含めて8曲を披露してくれました。そして最後は、保護者と一緒に演奏と合唱。とっても楽しい会でした。高学年はさすがでした。五六生の素敵な歌声が体育館に響きました。鑑賞態度も立派でした。予想以上の参観者があり、用意したイスがまったく間に合いませんでした。申し訳ありませんでした。多くの方に見ていただき、子供たちは練習の成果を張り切って楽しく発揮できたと思います。



12月 1日(月) 化石・鑑賞・文集

六年生の理科。数人が驚きや感動の声をあげている、その視線の先にはいくつかの石がありました。見せてもらうと、それは化石でした。石の中に葉があったり、地層があったり、虫のようなものが入っていたり。「○○先生が家から持ってきてくれたモノ」と教えてもらいました。この石の価値が分かっているのか、手に取る子よりも、顔を近づけてじっと見つめる子の方が、多かったような気がしました。本物からは、感動を味わえます。



友達の作品を鑑賞している授業を2つ見ました。二年生は、廊下に貼ってある「びっくりやさい」の絵を見て、感想を書いていました。四年生は、机の上に並べた版画の作品を見て、感想を書き合っていました。どの作品を選ぶかに多くの子は頭を悩ませていました。多くの子が集まる作品には、確かに魅力がありました。先生に褒められるよりも、友達にその苦労を認められる方が、時には嬉しいものなのです。



五時間目は、30人を越える六年生が校長室にやってきました。卒業アルバムに載せる作文の検閲を受けるためです。まとめて預かるよりも、集中して読んでチェックができました。本当にすばらしい作文が多くて、読んでいて感動すらしました。運動会やオーディション、宿泊学習での失敗体験について書いているものがあって、嬉しくなりました。この失敗を生かして、将来に向かっていく決意を感じたからです。六年生の子が、今抱いている夢もたくさん知ることができました。

